

# みんな楽しく気の向くままに描こう、作ろう

しょうぶの里では、利用者の生活に変化を持たせ、豊かな心を培うために、日課の中に創作的活動（アート班）と生産的活動（農芸班）を取り入れています。農業も10年も続くど加齢による衰えが見られ、創作活動（アート班）に合流しました。

しょうぶの里の創作的活動の理念は、「描いてみたい、書いてみたい、貼ってみたい、作ってみたい」と自由に何か好きなこと、やってみてみたいことを見つけて、それを大切にしています。物を描いたり、作ったりした「形」は、数が増え、色が付き、用紙一杯になった時、素晴らしい作品（アート）に変わっていきます。自分の作品が認められほめられると、作品制作に自らのめり込んでいきます。結果、作品にその人の個性あふれる芸術性がにじみ出ています。決して作品を強要したり、課題を与えたりしません。気の向くまま黙々と制作に取り組んでいます。

これまでにいくつもの作品が企業やNPO法人に登録され、また、数々のアート展にも入選しました。全国障害者アート公募展では、1500展の中から、審査員特別賞を頂きました。障がい者の作品は、出展したNHKハート展、アールブリュット展、全国障害者アート公募展では、6000人を超える人々に、たくさんの感動を、そして、美による心の感化を与えてきたことでしょう。障がいのある皆さん立派に社会に役立っています。

また、登録された利用者の商標デザインを商品に取り入れて、その売上げの一部を災害支援に役立てるといふ社会貢献もしています。

利用者は、まだまだ、私達にはない力や可能性をいっぱい持っています。それを引き出し個性を伸ばしながら、「障がい者に世の光を」でなく、「障がい者を世の光に」したいと強く願っています。

しょうぶの里施設長

長田 紀義



卒業制作ファッションショー

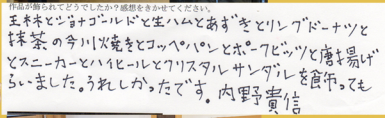
熊本デザイン専門学校

2015.2.8同仁堂ホールにて

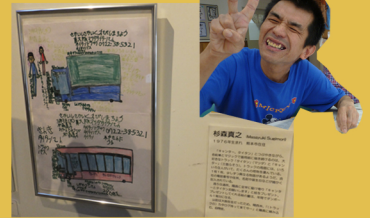


作家登録され  
商品化されたもの

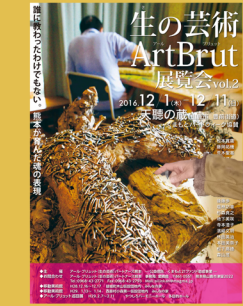
# 生の芸術 アールブリュット Art Brut



平成28年11月25日  
熊本日日新聞に掲載されました



ポストカードにもなり、身近に作品を感じることもできます。



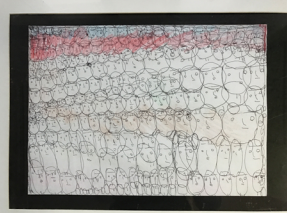
今回ポスターに採用された  
松下高徳さん



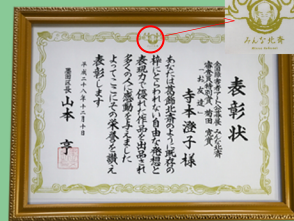
# 全国障害者 アート公募展 みんな北斎



澄子さんおめでとうございます



題名 お友達  
審査員評  
作者が歴史の中で出会った人々をえがいたのではないかと想像する。色々な顔を思い浮かべながら、気の向くままに描き人との繋がりを一枚の絵にしている。人というものを大事にしている方なのだろうと思う。北斎「北斎漫画」の中で、人間の多彩な動きや表情を描いている。この絵も、顔から相手の気持ちを感じとりとうとする、人間への関心がベースになって描かれた。だから伝える力が作品になっている。



全部が違う顔



岡井さん本田さんの作品がポスターに採用されました

初めてのライブ会場

